



した。他方、43%が「溪流や湖沼の水の中」、26%が「地下水」と回答するなど、実際の放射性物質の存在状況とは異なる認識を示した。また、森林内の放射性セシウム情報の必要性を尋ねたところ、「とても必要である」が19%、「ある程度必要である」が48%と、67%が情報を必要としていた。

そこで、無作為に回答者の半数に「森林内の放射性セシウムの大半が土壌にある」という情報を提供し、森林除染に関する選択肢を提示し、複数回答で尋ね、必要と思う森林除染に差が生じるかどうかを検証した。 $\chi^2$ 検定の結果、1%水準で有意となり、情報提供により差が生じることが明らかとなった。差が生じた選択肢を明らかにするため残差分析を行ったところ、「人がほとんど来ない山奥にある森林の除染」が1%水準で情報提供を行った回答者の方がより選択し、「これ以上の除染は必要ない」が5%水準で情報提供を行わなかった回答者の方がより選択し、それぞれ情報提供有無で差があることがわかった。

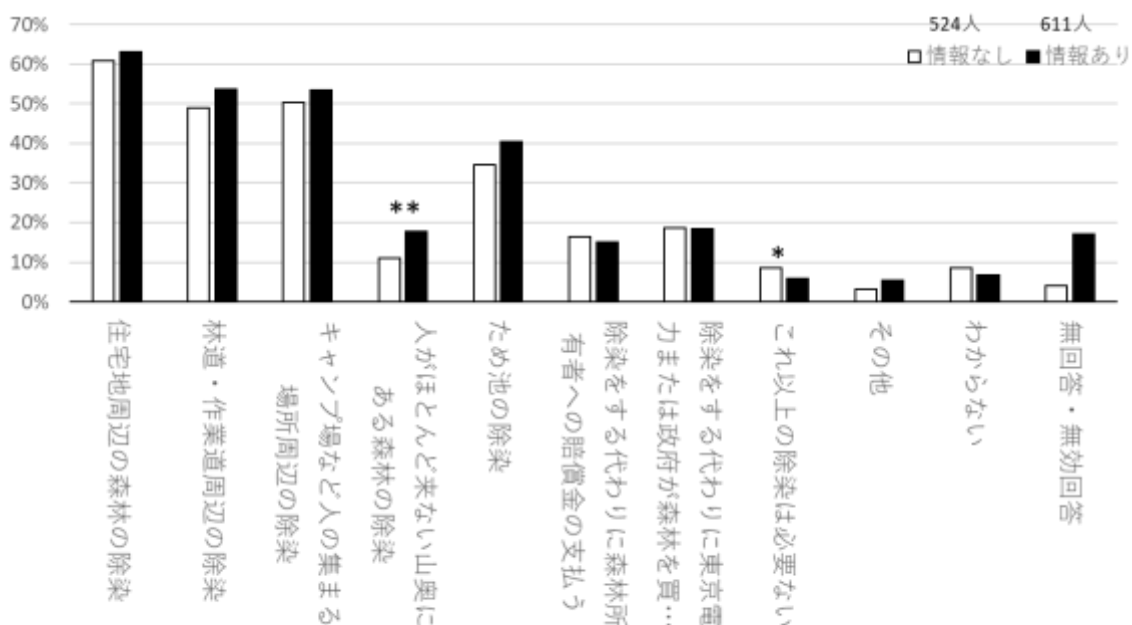


図1 必要と思う森林除染

注 \*\*、\*はそれぞれ1%水準、5%水準で有意であることを意味する。

#### 4. 結論

森林除染に対する住民の知識は必ずしも実情と合致するものではないところもあり、情報提供の必要性が考えられた。また、情報提供を行うことで森林除染に対する意識が変化し、除染の必要性を感じるようになると考えられた。